

# 予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	(満年齢)
<b>不活化ワクチン</b> B型肝炎 (母子感染予防を除く) <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>		①	②		③										
<b>生ワクチン</b> ロタウイルス (飲むワクチン) <span style="float:right">定期</span>	1価 <input type="checkbox"/> 5価 <input type="checkbox"/>		①	②	③											
<b>不活化ワクチン</b> 小児用肺炎球菌 <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>		①	②	③				④							
<b>不活化ワクチン</b> 五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>		①	②	③				④							
<b>生ワクチン</b> BCG <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>				①											
<b>生ワクチン</b> MR (麻しん風しん混合) <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>															
<b>生ワクチン</b> 水痘 (みずぼうそう) <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>															
<b>生ワクチン</b> おたふくかぜ <span style="float:right">任意</span>	<input type="checkbox"/>															
<b>不活化ワクチン</b> 日本脳炎 <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>															
<b>mRNAワクチン</b> 新型コロナ <span style="float:right">任意</span>																
<b>不活化ワクチン</b> インフルエンザ <span style="float:right">任意</span>	毎秋															
<b>不活化ワクチン</b> HPV (2価、4価、9価) (ヒトパピローマウイルス) <span style="float:right">定期</span>	<input type="checkbox"/>															
<b>不活化ワクチン</b> 髄膜炎菌 <span style="float:right">任意</span>	<input type="checkbox"/>															
<b>渡航ワクチン</b>	<input type="checkbox"/>															

生 生ワクチン 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 定期 定期の予防接種の対象年齢 ↔ おすすめ接種時期(数字は接種回数) (\*) 添付文書に記載はないが、接種を推奨

不 不活化ワクチン 任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。 任意 任意接種の接種できる年齢 ↔ 添付文書に記載のないおすすめ接種時期

mRNA mRNAワクチン ↔ 異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。 詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/> VPD 検索  
 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。